

ほら、もう園庭はみどりがいっぱいです。このふと月ですっかり今のようになったということは、一日いちにちの変わり方がすごいということなのでしょう。一日の変化は、そうそう気がつきませんが、重なると大きな違いになるのですね。

子どもたちも同じなのでしょうね。

みどりに包まれた庭に、色鮮やかな花が咲いています。

ちやうちやうが連れだって、やわらかく舞うように散歩にやってきました。

ダンゴムシも活動開始！子どもたちから身を隠すのに必死でしょう。

ナメクジに興味をもっている子もいます。「なめくじってどうしてねばねばしてるの？」って。

砂や土や水や風…も、子どもたちに語りかけてくるのでしょう。それらとつながる遊びが、いっぱい生まれてくるのですから…。

もしかすると、子どもたちの変化や生きいきしさによって、自然も生きいきしいのち豊かに四季を営むことができるのかもしれませんが。

「地球上に人間がもしいなくなったら」…人間を除いた他のいのちは同じように生き営み進化をし地球がある…と思いがちですが、そんなことはありません。人間が地球に存在するということは、すべての地球にあるものたちを左右するような、深い意味があるはずなのです。人がいるので、今このように地球があるのです。

一人ひとりのかけがえのなさも、同じでしょう。

新しい5月がやってきました。私たち一人ひとりが素晴らしい時間を過ごせますように！そして、そのことを通してよき場をつむいでいけますように！